

## 『国連研究』第 28 号 原稿募集

編集委員会

### 日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第 28 号（2027 年 6 月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。

#### I. 募集する原稿：①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、⑤書評

##### ① 特集論文

第 28 号のテーマ：「80 周年をむかえた国連が直面する危機」（仮）

##### （趣旨説明）

2025 年に国連は創設 80 周年をむかえました。その間、国連憲章は国際社会を秩序付ける基本的な法的枠組みとしての役割を果たしてきました。また、国連諸機関は、「国際の平和と安全」「開発」「人権」の三つの柱を軸としつつ、創設時には想定されなかった課題に対しても柔軟に対応してきました。2024 年 9 月に国連未来サミットで採択された「未来のための協定（*Pact for the Future*）」は、国連を中心とした多国間主義を未来にふさわしいものへと再活性化すべく、各国政府、市民社会そして他の主要パートナーの関与と知見を活用することを決意したものであります。

しかし、持続可能な開発目標（SDGs）や気候変動に関するパリ協定などが採択された 2015 年（国連創設 70 周年）とは対照的に、2025 年が国連 80 周年を祝う雰囲気とはなりません。多国間主義に懐疑的な政治集団が各国で支持を集め、とりわけ、トランプ（Donald Trump）第 2 期米政権は、国連諸機関や諸条約からの脱退に加えて、ベネズエラやイランへの武力攻撃を行いました。また、SDGs が 2030 年の期限までに達成されることは極めて難しい状況にあり、ジェンダーや DEI（多様性・公平性・包摂性）に対するバックラッシュのように人権に対する挑戦も見られます。また、国連システム自体も組織の肥大化や活動の重複により、限られた資源での効率的な運営に支障が生じています。その改革案として提示されたのが「UN80 イニシアティブ」でしたが、支援の切り捨てが起こるのではないかと懸念もあります。

このような背景を踏まえて、次号（第 28 号）では、これまでの『国連研究』のテーマが掲げてきた「課題」や「挑戦」から一步踏み込み、あえて「危機」という言葉を入れました。過去 80 年の歴史を振り返れば、国連は幾度となく危機をむかえ、そしてそれを乗り越えてきました。近年国連が直面している危機とはいかなる意味において「危機」なのでしょう、過去の危機とはどのように異なるのでしょうか。また、その危機に国連はどのように対応しようとしているのでしょうか。

これらの問いに対して、法学、政治学、歴史学、経済学、社会学、地域研究など多様な専門領域からの考察をお待ちしています。また、理論と実践の両面にわたる学際的な研究成果を発表する場が『国連研究』であり、実務に携わる方々からの現場の声もぜひ届けていただきたいと思います。学会誌を通して有意義な議論ができますように願っておりますので、みなさまどうぞ奮ってご応募ください。

## ② 独立論文

特集テーマにかかわらない書き下ろしの論考を受け付けています。

## ③ 政策レビュー

実務家の方々による現場の目を通した論考を募集いたします。国連における政策、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

## ④ 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の単著および編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

## ⑤ 書評

1冊の単著および編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

## II. 応募方法

各種論文を投稿する際には、まず、タイトルと趣旨（800字程度）を下記のアドレスまでメールでお送りください。また、書評執筆の申し込みまたは書評対象候補の推薦についてもメールにてお知らせください。いずれも書式は問いません。

神戸大学 赤星 聖

E-mail: sakahoshi★harbor.kobe-u.ac.jp  
(ご面倒ながら、★を@に変えてお送りください)

## III. 原稿掲載までのプロセス

各種論文の応募タイトルと趣旨、また、書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦を下記締切までにメールにて編集委員会にご提出ください。検討のうえ、編集委員会が執筆の可否を決定いたします。

「執筆可」の場合には、『国連研究』の執筆要領に沿って原稿をご執筆いただき、締切日までに完成原稿を提出していただきます。投稿された原稿は、編集委員会が依頼する 2 名による査読を経て、編集委員会が最終的な「掲載の可否」を決定いたします。なお、審査対象となる原稿は、①特集論文、②独立論文、③政策レビュー、④書評論文、の 4 種類です。

書評は査読の対象外ですが、書評を含むすべての原稿に対して、修正や題目の変更など原稿の内容にわたる改訂を求める場合があります。また、編集委員会の判断により、ご希望のセクションとは異なるセクションでの掲載の可能性があります。

#### IV. 各種応募ならびに完成原稿の提出の締切日

- ・各種論文の応募（タイトルおよび趣旨）：2026 年 7 月 31 日（金）
- ・書評の執筆申し込みと対象文献の推薦：2026 年 7 月 31 日（金）
- ・完成原稿の提出：2026 年 11 月 15 日（日）

#### V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は、学会ホームページに掲載されておりますのでご確認ください。

<https://www.jauns.net/journal>

※原稿字数は、Word の文字カウント機能において、「テキストボックス、脚注、文末脚注を含める」にチェック (☑) を入れたうえで、「文字数 (スペースを含める)」で計算ください。英語で執筆される場合、図表の原稿字数への換算率詳細が必要な場合には、完成原稿提出前に編集委員会にご相談ください。